

報道関係者 各位

令和7年10月30日
宗像市安全安心な学校づくり課



「食のまちむなかた」の新たな挑戦 中学生考案の給食を小学校で提供

自校式給食で地元食材を積極的に使用する宗像市の新たな試みとして、自由ヶ丘中の生徒が考案した給食献立を、同じ校区の自由ヶ丘南小で提供します。

この試みはより深く地域食材を知り、自らレシピを考えることで探求力を育むことを目的に行いました。

生徒たちは福教大生の協力を得て、約半年かけて、宗像の旬の食材や給食の経済性、栄養バランスについて学習し、宗像らしさがつまった給食献立を完成させました。

当日は考案した生徒5人が小学校を訪問し、自ら献立の説明を行います。その後、大学生と児童、宗像市長と一緒に給食を味わいます。



《中学生が福教大の先生や学生、栄養教諭などにプレゼンする様子》

【宗像の食を生かした給食献立開発 献立説明会・交流給食 概要】

日 時: 10月31日(金)

12:00~12:20 生徒による給食献立説明(説明後生徒は中学校に戻る)

12:20~13:05 6年1組児童と市長、大学講師・学生との交流給食

場 所: 自由ヶ丘南小学校 6年1組教室(朝町1124-2)

参加者: 自由ヶ丘南小学校 6年1組児童(34人)、自由ヶ丘中学校 7年生(5人)

福岡教育大学 家政教育研究ユニット講師 徳永 美希 氏、学生2名

宗像市長 伊豆美沙子

給食献立: 麦ごはん、牛乳、豚肉の生姜焼き、小松菜とブロッコリーのツナマヨ和え、さつま芋の味噌汁

(宗像産食材:米、しょうが、玉ねぎ、小松菜、さつま芋、キャベツ、ねぎ、みそ)

【事業概要】

市では、昨年度から「むなかた育ちウイーク」として、市内の小・中学校で地元食材を使った特別給食を提供しています。自由ヶ丘中ではその一環として、昨年度から給食レシピづくりに取り組んでいます。今年度はさらに一歩進めて「生徒による献立づくり」に挑戦しました。半年間の学びを経て完成した献立が、小学校で実際に提供されます。

【本件に関するお問い合わせ先】 ※取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市 安全安心な学校づくり課 担当: 秋葉 電話: 0940-36-1322